

市立学校の普通教室に電子黒板を導入

和泉市では、授業における ICT 活用を一層進めるため、市立小・中・義務教育学校(槇尾学園、池上小学校、幸小学校、富秋中学校を除く)の普通教室に、65 インチの電子黒板機能付き大型提示装置 410 台を導入しました。

■導入の経緯

これまで使用していた大型テレビは、導入から長期間が経過しており、画面に直接書き込むなどの電子黒板機能を備えていませんでした。児童生徒用端末やデジタル教材を効果的に活用し、授業の分かりやすさを高めるため、電子黒板機能付き大型提示装置へ更新しました。(更新完了日:8月19日)

■電子黒板機能付き大型提示装置でできること

- 画面に直接書き込み、板書や資料を保存することができます。
- 教員用端末や児童生徒用端末の画面を無線で映し出すことができます。
- 内蔵書画カメラにより、教科書、ノート、作品などを大きく映し出して共有できます。
- 複数人が同時に書き込めるため、考えを比べたり、協働して学んだりする活動に活用できます。
(別添「ミライタッチ さつき株式会社カタログ抜粋」参照)

■期待される効果

資料や考え方を全員で見比べたり、児童生徒の考えをその場で共有したりすることで、対話的な授業づくりが進むことが期待されます。

■費用

契約額 219,890,000円(410台)

今後も、紙の教材とデジタル教材それぞれの良さを生かしながら、子どもたち一人ひとりの学びを支える教育環境の充実に取り組んでいきます。